

しわく ほんじま 塩飽本島 霊場巡拝

→ : 本島港を起点とする歩き遍路の順路
 お接待はなくなり次第終了です。通常お昼前には終了します。

しわく ほん じま 塩飽本島 お大師まいり 春爛漫の島遍路



札所

- ㊦1 第1番 長徳寺(ちょうとくじ)
- ㊦2 第2番 おやみ堂
- ㊦3 第3番 阿彌陀堂
- ㊦4 第4番 薬師堂
- ㊦5 第5番 専称寺(せんしょうじ)
- ㊦6 第6番 恵比寿社
- ㊦7 第7番 東光寺(とうこうじ)
- ㊦8 第8番 惣光寺(そうこうじ)
- ㊦9 第9番 太子堂
- ㊦10 第10番 宝性寺(ほうしょうじ)
- ㊦11 第11番 稻荷堂
- ㊦12 第12番 毘沙門堂跡
- ㊦13 第13番 大師堂
- ㊦14 第14番 来迎寺(らいこうじ)
- ㊦15 第15番 地藏堂
- ㊦16 第16番 阿彌陀寺
- ㊦17 第17番 不動堂
- ㊦18 第18番 ゆるぎ岩観音
- ㊦19 第19番 南観音堂
- ㊦20 第20番 常福寺(じょうふくじ)
- ㊦21 第21番 北観音堂
- ㊦22 第22番 惣持寺(そうじ)
- ㊦23 第23番 長命寺(ちやうめいじ)
- ㊦24 第24番 浜大師堂(権現さん)
- ㊦25 第25番 宝泉寺(ほうせんじ)
- ㊦26 第26番 丘大師堂(本山寺分院)
- ㊦27 第27番 阿彌陀堂
- ㊦28 第28番 薬師堂
- ㊦29 第29番 持宝寺(じほうじ)
- ㊦30 第30番 大師堂
- ㊦31 第31番 大師堂
- ㊦32 第32番 水不動
- ㊦33 第33番 正覚院(しょうがくいん)

- 1 番外1 本島中学校
- 2 番外2 山根文化センター
- 3 番外3 地藏(笠島)
- 4 番外4 墓(小阪)
- 5 番外5 大谷道祖神
- 6 番外6 福田センター(観音さん)

朱字の場所で、お接待が供せられる予定です

順路の主要地点間距離

本島港 ~ 笠島	約2km
笠島 ~ 泊	約2.5km
泊 ~ 小坂	約1km
小坂 ~ (南回り) 生ノ浜	約3km
生ノ浜 ~ 大浦	約4.5km
大浦 ~ 屋釜 ~ 正覚院	約3.1km
正覚院 ~ 本島港	約1.7km



本島には、三十三所より古い本島八十八カ所もあります。問合せは塩飽本島観光案内所へ。電話 0877-27-3077

歩き順路のご案内

●印の場所でお接待が行われる予定です。

本島港

右へ水路沿いに200m歩き、道なりに左へ、150mで中学校に突き当たり右折。200mで小学校、八幡神社の鳥居前を過ぎれば国指定史跡塩飽勤番所。江戸時代に塩飽領を統治した役所の跡で、信長、秀吉、家康の朱印状など塩飽の歴史を語る貴重な遺品を展示している。そこから150mの三叉路は斜め左へ。ほどなく山根の接待所。山根を通り過ぎ、第1番長徳寺は道標に従い左折し登坂200m。

●第1番 長徳寺(ちょうとくじ、笠島)

長徳寺門前を左折し、左が竹藪の坂を上る。100mのところを右折すれば第3番への近道。そのまま上れば200mで遠見山登山口。登山口に入って、100mで岩陰の第2番おやみ堂。山は春の香り。

●第2番 おやみ堂

更に登り遠見山山頂で遊歩百選を体感。反対側を下山。50mで右折し笠島へ200mの下山道。尾上神社に下る。神社出口を右折50mで地蔵の接待所。Uターンし海まで下り、左折して波止際を200m、集落のはずれをわずかに上れば第3番阿弥陀堂。

●第3番 阿弥陀堂

Uターンして、波止際から1本陸寄りの道をたどり、文化庁選定の伝統的建造物群保存地区を歩く。300mで「第4番薬師堂、第5番専称寺→」の道標を右折、東小路の緩やかな坂を200m登りきった右手墓地内に第4番薬師堂。薬師堂からは大イチョウの第5番専称寺が見える。

●第4番 薬師堂

●第5番 専称寺(せんしょうじ、笠島)

専称寺を出て右折、切り通しを100m下り、「第6番恵比須社←」道標を左折、小さな社が第6番。

●第6番 恵比寿社

海へ出て、車道を右折。200mで「左甲生道」道標を左折し、甲生までは300m。途中の徳玉神社は大松が枯れ物寂しい。甲生の海岸を右折し、100mの第7番東光寺には、現世利益のお薬師さんが待つ。

●第7番 東光寺(とうこうじ、甲生)

門前を右折。小さな切り通しを越え、水路を左手に道なり300mで三叉路。直進して、塩飽勤番所、小学校と来た道に戻る。小学校横の第8番惣光寺は由緒ある寺だが廃寺。

●第8番 惣光寺(そうこうじ、宮ノ浜)

来た道に戻るが、港への道は中学校沿いに通過。「第9番太子堂→」道標を右折、100mで太子堂。

●第9番 太子堂

太子堂から左へ50m、右手の坂上50mに第10番宝生寺。

●第10番 宝性寺(ほうしょうじ、泊)

道標に従って、泊海岸の木鳥神社内に第13番大師堂。

●第11番 稻荷堂(本嶋町泊大井戸)

●第12番 毘沙門堂跡(廃寺)

●第13番 大師堂

神社を出て右折、道標に従い、細道を抜けて200mで法然上人ゆかりの来迎寺。

●第14番 来迎寺(らいこうじ、泊)

海岸に出て、右折。海沿いを小坂へ向かう。400m、小坂の入り口に地蔵堂。

●第15番 地蔵堂

地蔵堂から300m、「阿弥陀寺→」道標を右折、高台に16番阿弥陀寺。

●第16番 阿弥陀寺(あみだじ、小阪)

阿弥陀寺入り口に戻り右折100m、「17番不動堂→」道標を右折400m、峠に不動堂。

●第17番 不動堂

Uターンし小坂港へ戻り右折、小坂のはずれ、墓地の脇に接待所がある。海岸通りを西回り、生ノ浜の中央部高台にある常福寺までは3km。途中の18番ゆるぎ岩観音は一見の価値がある。19番南観音堂は如意輪観音が微笑。18番19番のお接待は20番常福寺におまとめ。

●第18番 ゆるぎ岩観音(磨崖仏)

●第19番 南観音堂

●第20番 常福寺(じょうふくじ、生ノ浜)

●第21番 北観音堂

海岸を西回りに800mで22番惣持寺跡の収蔵庫には23番長命寺の弥勒仏もいらっしゃる。美男仏。

●第22番 惣持寺

●第23番 長命寺(ちょうめいじ、尻浜)

海岸通りを600mで福田。道標に従い歩けば、集会所含め近接4か所でお接待がある。

●第24番 浜大師堂

●第25番 宝泉寺(ほうせんじ、福田)

●第26番 丘大師堂(本山寺分院祠)

●第27番 阿弥陀堂

福田から大浦は、車道を道なりに1km。右折し400mで持宝寺入り口。左折150mで持宝寺。

●第28番 薬師堂

●第29番 持宝寺(じほうじ、大浦)

●第30番 大師堂

細道を浜へ出て右折し海岸にそって歩く。大浦のはずれからS字の急坂を登り、岬を回って1kmで屋釜。海岸淵の31番大師堂(お接待無し)までは400m。屋釜は戸数2。

●第31番 大師堂

Uターンし、小さな神社のところを左折して1km急坂を登って下る。「33番正覚院→」道標を右折。急坂を600m、結願への試練を登りつめて、33番正覚院。時間があれば、奥山山頂はお勧めの景観。

●第32番 水不動

●第33番 正覚院(しょうがくいん、泊)

正覚院鐘堂裏の小さな駐車場からは、船着き場も見える。港までは1.7km。

主な札所のご案内

第1番 長徳寺(ちょうとくじ、笠島)

本尊は恵心僧都作と伝わる平安期の阿弥陀如来で市指定文化財。宝物には市指定文化財で天文14年(1545)在銘の文字瓦・絵瓦や、古い仏像・仏画が多数あり、本堂前のモッコクは、樹齢約400年「ふるさとの名木」に指定されている

第5番 専称寺(せんしょうじ、笠島)

本尊は阿弥陀如来。建永2年(1207)浄土宗の開祖法然上人が讃岐へ配流の途中、しばらく滞在した遺跡である。寺室に爪形の名号石、金銅仏、木鉦(もくしょう)等がある。寺の門前には年寄の墓があり、正面の山には県指定史跡の笠島城跡がある。

第7番 東光寺(とうこうじ、甲生)

本尊の薬師如来は、平安時代の作で国指定の重要文化財。脇侍の不動明王、毘沙門天も鎌倉時代の秀作で、宝物の鰐口(わにぐち)と共に市指定文化財である。

第8番 惣光寺(そうこうじ、宮ノ浜)

本尊は阿弥陀如来。天平元年(729)行基菩薩の門人海順大僧正が開山したといわれる。塩飽全島の総氏神・八幡神社の別当寺であった。

第10番 宝性寺(ほうしょうじ、泊)

本尊は大日如来。宝物として市指定文化財の高麗仏画十王図をはじめ多くの仏画を保存している。本堂は後補のものであるが室町時代の建立といわれる。裏山の番外札所塩飽観音は、海上安全・商売繁盛の仏として信仰されている。

第14番 来迎寺(らいこうじ、泊)

本尊は鎌倉末期作の阿弥陀如来で市指定文化財。法然上人が塩飽へ配流になったとき、島民を集めて念仏往生を説いた遺跡である。宝物に市指定文化財の阿弥陀浄土変相図、山越阿弥陀如来図・二十五菩薩来迎図等がある。

第16番 阿弥陀寺(あみだじ、小阪)

本尊は阿弥陀如来。法然上人がこの地から讃岐へ渡られたとき島民が別れを惜しんだので、船のともづなを結んであった石に「南無阿弥陀仏」と書き残されたのが「ともづなの名号石」として保存されている。

第20番 常福寺(じょうふくじ、生ノ浜)

本尊は地蔵菩薩。延宝2年(1674)住僧堯誉が本堂を再建した。境内の五輪塔は、室町時代のものといわれる。宝物に阿弥陀如来来迎図等がある。

第23番 長命寺跡(ちょうめいじ、尻浜)

長命寺の本尊薬師如来(平安時代)と第22番惣持寺の本尊弥勒仏(鎌倉時代)は県指定文化財で、惣持寺跡の収蔵庫に安置されている。

第25番 宝泉寺(ほうせんじ、福田)

本尊は地蔵菩薩。この地蔵菩薩は、四国霊場第19番札所立江寺の地蔵菩薩と兄弟だという伝説がある。

第29番 持宝寺(じほうじ、大浦)

本尊は毘沙門天。当寺の阿闍如来(あしゆくによらい、平安後期作)と絹本著色(けんぼんちゃくしやく)両界曼荼羅図は、いずれも県指定文化財である。阿闍如来像は全国的にも作例が少なく、かつ、すぐれた像として貴重である。他に理源大師像など多数の仏画を保存している。境内に、当地出身の作家大倉桃郎の文学碑がある。

第33番 正覚院(しょうがくいん、通称山寺。泊)

本尊は聖観世音菩薩。結願のこの寺は真言宗大本山で京都の醍醐寺を創建した理源大師の誕生所として有名である。本尊と脇侍の不動明王、毘沙門天及び十一面観音鏡像は重要文化財で、鰐口、懸仏、梵鐘等多くの市指定文化財がある。参道には、理源大師の母綾子姫の墓、弘法大師の作と伝える磨崖仏の水不動(第32番札所)がある。

本島霊場ガイド

本島のお大師参りは、毎年旧暦三月四日に、島びとが先祖の供養のため、浄財を集めて参詣者にお接待を供する行事です。この行事の起源について確かな記録はありませんが、一説には、豊臣秀吉の朝鮮出兵に、水軍として参加した塩飽の人達が、戦没者の霊を弔うために行ったのが始まりであろうといわれています。

正徳三年(一七一三)の記録によれば、当時本島には五千人が住み、正覚院はじめ二四の寺と十一の神社が建っていました。面積わずか六平方キロの島に、それほどあったことは、住民の信仰心の深さと、経済力の豊かさを物語っています。

島には、寺院とその宝物のほか、国指定史跡塩飽勤番所(きんぱんしよ)、人名(にんみょう)の代表者である年寄の墓、笠島の古いまち並み、農村舞台の千歳座(ちとせざ)、生ノ浜の夫婦倉(みょうとぐら)等があります。日本の遊歩百選に選定され、いたるところに絶景があります。札所巡りを兼ねて、春の一日をごゆっくりお楽しみください。

ようこそ本島へ

このガイドも島びと手作りのお接待です

塩飽本島観光案内所
電話 0877-27-3077

アクセス

丸亀～本島 (本島汽船 Tel 0877-22-2782)

便	丸亀発	本島着	便	本島発	丸亀着
1	6:10	6:45	1	6:50	7:20
2	7:40	8:15	臨時	8:20	8:50
臨時	9:00	9:35	※2	8:30	8:50
3	10:40	11:15	3	9:40	10:10
※4	12:10	12:30	4	12:35	13:05
臨時	13:10	13:45	臨時	13:50	14:20
5	15:30	16:05	※5	14:15	14:35
※6	16:30	16:50	6	17:10	17:40
※7	18:15	18:35	※7	17:50	18:10
※8	20:00	20:20	※8	19:30	19:50

※印は旅客船、無印はフェリー、臨時は臨時フェリー運賃(往復) 大人1,010円 小人 520円

児島～本島 (六口丸海運 Tel 086-474-6199)

便	児島発	本島着	便	本島発	児島着
1	6:25	6:55	1	7:00	7:30
2	9:30	10:00	2	10:05	10:35
3	15:55	16:25	3	16:40	17:10
4	18:30	19:00	4	19:10	19:40

運賃(往復) 大人1,180円 小人 590円